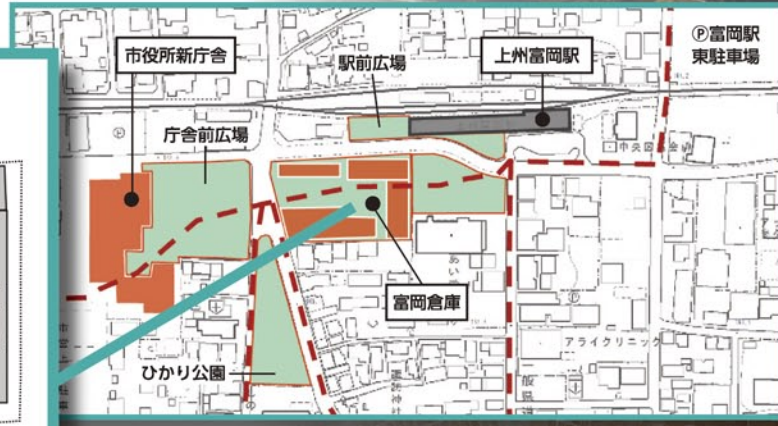
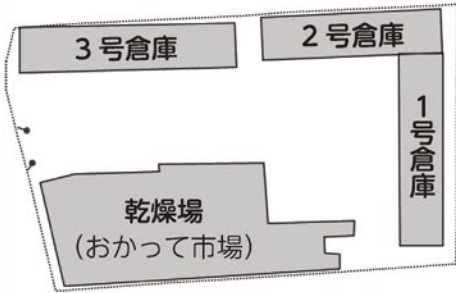


富岡倉庫の配置図



■ 新たな交流拠点の核となる広場  
- - - 観光客の主な動線

● 富岡倉庫は、明治 33 年に設立された富岡倉庫株が倉庫営業・倉庫賃貸営業のために建設しました。明治 34 年の記録によると、「繭・熨斗糸・玉繭」などの蚕糸関係や「玄米・石炭」などの物資を扱っていましたが、明治 43 年 8 月に解散。その後、11 月に同名で再度設立され、平成 28 年まで富岡倉庫を使用した営業を行っていました。同年 10 月、建物が富岡倉庫株から市へ譲渡されました。

世界遺産センター設置決定  
平成 30 年度オープン予定

1 月 23 日、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」のガイダンス施設「世界遺産センター（仮称）」を富岡倉庫に設置することが決まりました。世界遺産センターは、れんが造りの 1 号倉庫に設置され、世界遺産の価値を伝えるとともに、日本遺産など本県の豊かな絹文化を総合的に発信し、調査研究を行います。



**市が考えている利活用案**  
3 棟の倉庫と木造の建築物で構成される「富岡倉庫」は、上州富岡駅から市役所新庁舎の周辺に形成される新たな交流拠点の核となる場所です。市では、カフェやレストランなどの店舗、自動線系機などの動態展示などを「コの字型」で中庭を囲むように配置し、駅から中庭に直接入り、新庁舎へと続く新たな動線とすることを考えています。「富岡倉庫」と「富岡製糸場」、この二つの拠点をつないで、富岡製糸場周辺のまちづくりを進めていきます。

富岡倉庫の利活用は、ここを拠点に市全体の経済活性化につなげることを視野に入れて検討を進めています。また、皆さんに末永く親しまれる空間にするために、意見を募集する「オープンハウス」を 1 月 23 日から 29 日まで行いました。（詳しくは、4・5 ページをご覧ください）  
皆さんからいただいた意見を参考に、今後運営に参加する民間事業者や世界遺産センターの整備運営にあたる県と協議して設計をまとめ、平成 30 年度をめどに整備を進めます。

特集  
富岡倉庫

上州富岡駅と市役所の間にある歴史的な倉庫群「富岡倉庫」。たくさんの方が交流し、さまざまな活動が行われる空間として活用できる、新たな交流拠点づくりが始まります。

問い合わせ 都市計画課 (☎内線 1474)

歴史的建造物の魅力を生かした利活用を発信 富岡倉庫オープンハウス	1
新庁舎建設の進捗状況	2
特集 富岡倉庫	2
上武大学絵手紙展 / 富岡製糸場観桜会	6
藤田峠キャンプ場予約開始 / お花見に行こう	7
チケット先行販売中 映画「紅い襷」	8
インスタグラムを使ったキャンペーン実施中 / 貫前神社・式年遷宮 / 丹生湖ワカサギ釣り大会	9
市長室から / 市長交際費 (1 月)	10
新連載 市内の歴史的建造物 / 地域づくりトピックス	11
臨時窓口開設 / 軽自動車の廃車手続き / 自動車の名義変更など	12
固定資産税 (縦覧と納期のお知らせ、Q&A)	13
臨時福祉給付金の申請受付開始 / 国保の加入・脱退手続き / 国民年金保険料のお知らせ・納付相談会	14
健康とみおか 21 通信 / 平成 29 年度「受診シール」「健康のしおり」を配布	16
胸部検診 / 検診の自己負担金免除手続き	17
PET・CT 健診 / 定期予防接種の一部が個別接種へ	18
春季全国火災予防運動 / 市営ガス事業の引き継ぎ業者 / パブリックコメント	19
トピックス	20
情報あれこれ	22
美博通信	28
環境美化推進員を募集 / 市民の文芸	29
3 月市民相談室	30
4 月保健ガイド	31
笑顔だいすき / 広報紙クイズ	32



(2月16日現在)

新庁舎建設の進捗状況

1 階は内装工事、2 階・3 階は躯体工事（建物の主要な構造体を作る工事）が行われています。（富岡庁舎 3 階より撮影）